



令和7年12月23日
海上保安庁

海賊対策のため巡視船あきつしまを派遣します ～シーレーンの安全確保に向けて～

海上保安庁は、東南アジア周辺海域における海賊対策のため、令和8年1月9日から約1か月間、巡視船「あきつしま」を東南アジア周辺海域に派遣し、公海上でのしゅう戒等を実施します。

派遣中にはベトナム海上警察（VCG）と海賊対処訓練を実施し、連携・協力関係の強化を図ることとしております。

これらの取組を通じて、インド太平洋地域における法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の維持・強化に貢献します。

東南アジア周辺海域では、令和6年だけでも70件（令和7年1月～9月末時点で84件）の海賊等事案が発生しており、同事案への対処の取組を沿岸国とともに継続していく必要があります。

海上保安庁では、海賊対策として平成12年以降、東南アジア周辺海域に巡視船を派遣し、監視警戒を実施するとともに、各国海上保安機関との合同訓練を通じた連携・協力関係の強化を図っております。

1. 派遣巡視船

巡視船あきつしま

（総トン6,500トン、ヘリコプター搭載型）

第三管区海上保安本部 横浜海上保安部所属



2. 行動概要

（1）公海上でのしゅう戒

東南アジア周辺海域の公海上における海賊行為の監視警戒を実施し、シーレーンの安全確保を図ります。

（2）ベトナム海上警察（VCG）との連携訓練

巡視船あきつしまをダナン（ベトナム）へ派遣し、VCG巡視船と、海賊対処に係る連携訓練を実施します。

（3）日本関係船舶等との官民連携海賊対処訓練

日本関係船舶の海賊被害の防止及び迅速な対処体制の確立を目的として、洋上の民間船舶と当庁巡視船の間及び当該船舶の運航会社と海上保安庁の間等における海賊発生情報の伝達訓練等を実施します。

3. 派遣日程

令和8年1月9日（金）	出港式、横浜港出港
1月中旬	VCG との海賊対処連携訓練
1月下旬	日本関係船舶等との官民連携海賊対処訓練
2月2日（月）	横浜港入港、入港式